

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ナチュレ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる構造化環境 ・スケジュール表作成(全体、個別) ・空間の構造化 ①勉強、課題を頑張る場所 ②遊ぶ場所 ③リラックスする場所	・視覚的スケジュールを使うことで、その日の流れを管理する能力が育つようにしている。 ・決められた場所で安心して過ごすことが出来るように、何をする場所なのか明確にしている。	・視覚的スケジュール使用継続により、自立性と自己管理能力の向上に努める。 ・体調不良や気分により運動を休みたい時や、製作に時間を要する為スケジュールを変更したい時は、支援者に相談することを始めた。
2	長期休みの充実した活動 ・10時～16時の利用時間 ・花見、川遊び、焚火、電車移動、クッキング、外食体験等	・春、夏、冬と季節に応じた活動を計画し、経験することで多くの学びを得るようにしている。写真付きのお便りを発行している。 ・公共の場でのマナーの重要性や社会性、お金の使い方を学ぶ機会を得る。	・マンネリ化しないように、皆で意見を出し合い、下見に行ったり、情報を得たりして子どもも支援者も楽しみながら様々なことを学ぶ機会にする。今まで経験していないことにチャレンジする。
3	自然豊かな環境 ・四季折々の花、野菜作り ・集団で運動できる畑広場 ・神社内の固定遊具	・近くの木々の花を觀賞したり、ガーデニングで花の苗を植えたり、野菜や果物作りを通して土に触れたり、生育観察、収穫の喜びを味わう。 ・キャッチボール、野球、サッカー、バドミントン、バレー等、10人程が十分に運動できるスペースが近くの畑広場にある。	・花や野菜、苺作りに興味関心がある子どもと一緒に取り組み自然に触れる。感謝の気持ちにつながる言葉かけをする。 ・体を動かすことでストレス解消につながることを伝え、広場の整地に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化 ・災害時、避難しにくい玄関の狭さ。	・旧宅をリノベーションしている為、バリアフリー化するのが難しい。 ・現在利用の子どもさんは、不便に感じてる様子は見られない。 ・災害訓練時、玄関の混雑を感じる。	・改善に向けての取り組みは、非常に難しいが、今は安全面に十分配慮して出入りを見守り、時には声かけをする。
2	・専門職のスキルアップ	・年齢を問わず、学んだ専門職のスキルが現場で活かされているか。	・スキルアップを目指し、スキルの高い人から吸収したり、勉強会に参加したり、習得したものを現場で活かせるようにする。常に質の高い支援を意識する。
3	・環境のマンネリ化 メリット、デメリット	・自由時間に色々な遊びや製作を楽しむ子どももいるが、中には行き渋りの子どももいる。安心できる環境も子どもによっては変化を求めることもあるのだろう。 興味あるものや新しい物を準備しているが、長続きするような工夫が必要なのかもしれない。	・子どもの思いや考え、取り組んでみたいことに耳を傾けて、必要な物を準備したり、意欲的に活動する言葉かけの工夫をする。定期的に新鮮な気持ちになる活動を準備する。